



平成 22 年 10 月 7 日

みんなでつくるセーフコミュニティ ～ 第 19 回地域安全運動豊島区民大会 2010 開催 ～

本日、東京芸術劇場大ホールにおいて、「みんなでつくるセーフコミュニティとしま 第 19 回地域安全運動豊島区民大会 2010 APEC 警備完遂に向けて」が開催された。豊島区は、区制施行 80 周年を迎える平成 24 年度にむけて WHO(世界保健機構)の世界基準による安全・安心まちづくりである「セーフコミュニティ」の認証取得を目指している。この取り組みを地域社会に広げるとともに、誰もが住みやすいまちづくりに向けて、意識の高揚と活動の活性化を図るために行なわれた。

式典の締めくくりには、主催者代表の豊島区町会連合会会長の中村氏により「豊島区民は、関係行政機関や地域活動団体と力を合わせ、『安全で明るいまちづくり』、『セーフコミュニティ認証に向け、安全と安心と健康の質を高めるまちづくり』、『テロを許さない社会づくり』のための諸活動を積極的に展開していく」旨の大会宣言が声高らかに唱えられた。警察、消防、町会関係者をはじめ、医療、教育、商工関係など分野を越えて会場に集まった約 2,000 人の参加者の、取り組みへの機運を高めた。

日 時	平成 22 年 10 月 7 日 (木曜日) 午後 1 時～4 時	
場 所	東京芸術劇場 大ホール (西池袋 1-8-1)	
主 催	池袋・巣鴨・目白警察署/池袋・巣鴨・目白防犯協会/豊島区町会連合会/豊島区セーフコミュニティ推進協議会/豊島区	
当日の様子 参加者の声 など	式典では、地域の皆さんによる安全・安心活動についての発表が行われた。「防災活動」「子どもの安全」「高齢者の見守り」「交通安全活動」などさまざまな角度から、現状や課題、活動を続けていくうえで工夫している点などについて発表があった。 また、豊島区のセーフコミュニティ専門委員で国際交通安全学会専務理事の石附弘氏による「セーフコミュニティの魅力～文化と品格を誇れる価値あるまちづくりのために」と題した講演も行なわれ、集まった参加者は、熱心に耳を傾けていた。	
背 景 補 足 事 項	* 全国地域安全運動：10 月 11 日(水)から 20 日(金)までの間、メインスローガンに「みんなでつくり安心の街」を掲げる防犯運動を指す。地域安全活動をさらに強化し、効果を最大限に引き上げ、安全で安心して暮らせる地域社会の実現化をはかっている。	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	池袋警察署長の挨拶 	事例発表者 
問 合 せ	セーフコミュニティ担当課	